

令和3年度奥出雲町ふるさと応援寄附の報告

全国の皆様からふるさと納税による皆さんの寄附を頂きました。

寄附金額 3億9064万9千円(対前年比2215万3千円増)
寄附件数 1万7026件(対前年比2434件増)

ご公表に了承いただきました方を奥出雲町ホームページにてご紹介しております。たくさんの方のあたたかいご寄附を頂き、誠にありがとうございました。

ふるさと納税は寄附金の用途を指定することができ、令和3年度は左記の事業に活用させていただきました。

- 人口定住・結婚対策に関する事業 [1450万4千円]
住宅整備支援事業、縁結び活動支援事業など
- 出産・子育て支援に関する事業 [8379万7千円]
出産祝金支給事業、屋内型子ども遊び場整備など
- 自然環境・環境保全に関する事業 [1527万9千円]
農家民宿等支援事業、農業遺産推進協議会補助金など
- 観光振興に関する事業 [2680万7千円]
町内観光施設指定管理料など
- 教育・文化・スポーツ振興に関する事業 [1997万9千円]
学校教材備品図書等購入費、教育用ICT機器整備事業など
- その他事業 [2億6000万3千円]
避難所用備品整備事業、スポーツ合宿等奨励事業など

日本遺産

「出雲國たたら風土記」が、「重点支援地域」に認定

文化庁は、奥出雲町、雲南市、安来市の3市町で2016年に認定を受けた日本遺産「出雲國たたら風土記」を、鉄づくり千年が生んだ物語を審査し、他の地域のモデルとなる「重点支援地域」に認定しました。

日本遺産は、地域の歴史的魅力や特色を通じて文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定する制度で、2015年に創設されました。認定年順に審査が実施されており、今年も2016年に認定された19件の審査が実施され、7月29日に結果が公表されました。中でも、これまでの優れた取り組みが評価された「重点支援地域」には、「出雲國たたら風土記」を含む3件が認定されています。

3市町でつくる鉄の道文化圏推進協議会会長の勝田町長は「今後も、官民が一体となって、構成文化財の保存、継承を図るとともに、受入体制の整備や更なる認知度向上の取り組みを進め、地域全体の観光振興につなげていきたい。」と述べました。



写真:左から、奥出雲町・勝田町長、安来市・田中市長、雲南市・石飛市長

第12回全国和牛能力共進会 和牛フェスティバル 2022



写真:島根県代表牛と出品者(島根中央家畜市場)

第12回全国和牛能力共進会島根県代表牛<種牛の部>

出品区	名号	出品者(地区)
第5区(高等登録群)	はなざく	金倉 弘美(阿井)
	あおい	和泉 宏幸(阿井)
	あおい2	和泉 宏幸(阿井)
第6区(総合評価群)	ふくやす	奥出雲町農業公社
	ふくひさ	勝田 律江(阿井)
	はる	石原 誠(阿井)
第6区補欠牛	かつひら	井上 昭(阿井)
	ゆりひさ	福田 勇(三城)

第12回全国和牛能力共進会(全共) 島根県最終選抜会の結果について

第12回全国和牛能力共進会の島根県最終選抜会(種牛の部)が7月13日、松江市宍道町の島根中央家畜市場で開催されました。奥出雲町からは延べ13頭が出品され、県出品対策本部審査委員による個体審査及び比較審査の結果、7頭が島根県代表に選ばれました。代表牛は左表の通りです。

また、肉牛の部は、8月25日に開催されます。肉牛の部には奥出雲町から3頭の出品が決定しており、県の代表牛をめざして取り組んでいます。今後、県の代表として、鹿児島の上位入賞をめざして飼養管理を徹底し、奥出雲町の産地として全国に轟くよう全力で取り組んで参りますので皆様のお支えをお願いします。

《活用事業を紹介します》 妊婦健診の交通費を助成



奥出雲病院での分娩の取り扱いを休止したため、町外で妊婦健診を受診する際の交通費を助成して妊産婦の経済的負担の軽減を図りました。

若年世帯等の住宅整備をサポート



町への移住及び定住を促進するため、若年世帯及び転入者が行う住宅整備に対して補助金を交付しました。(新築工事4件、住宅の増改築・改修工事11件)

ALT(外国語指導助手)が交代しました

これまで町内の小中学校で外国語指導にあたられていた、外国語指導助手のペロニカ・ペレスさんが任期を終えられ、7月27日から新たにローレン・トンプソンさんをお迎えしました。

ペロニカ・ペレス



私はこの奥出雲町で7年間も住んでいて慣れて信じている！本当にお世話になりました。この7年間に皆さんの素敵な経験や思い出を作りしました。そして心の中で大切にします。



初めて「あなたの配置は島根県の奥出雲町です。」と聞いた時、「島根県？それはどこかな」とも嬉しい！良かった！と思いました。

アメリカに帰ることは寂しいですが、いつかまた日本と奥出雲町にまた来たいです。奥出雲町は私にとって第二のふるさとになりました。アメリカに帰ったら、たくさん勉強して教師の免許を取りたいです。そして将来は、日本と奥出雲町についてアメリカの生徒たちに教えることが楽しみです。奥出雲町の子供たちには、いろいろな文化についてたくさん学んでくれることを願っています。

最後に奥出雲町の子供たち、本当にありがとうございました。この7年間はとても楽しかった！これからも英語の勉強を楽しんで頑張ってください！

ローレン・トンプソン



ローレン・トンプソンといいます。日本に来るのは初めてです。出身はアメリカのカリフォルニア州です。奥出雲町の子供たちにアメリカの文化を教えたいです。趣味は運動とハイキングとゲームです。

どうぞよろしくお願いします。

◆主に横田中学校区の学校勤務
(横田中、鳥上小、横田小、八川小、馬木小、高尾小)

可燃ごみの広域処理に向けた基本合意書締結式

雲南圏域の3市町(雲南市、奥出雲町、飯南町)は7月12日、次期可燃ごみの広域処理に向けた基本合意書の締結を雲南市役所で行いました。

現在、奥出雲町の可燃ごみは、町が運営する仁多可燃物処理センターにおいて単独で処理しており、また、雲南市、飯南町は雲南市・飯南町事務組合で処理しています。しかし、いずれも施設が老朽化しており、新たな施設の整備が課題となっています。

このため、新たな可燃ごみ処理施設は、雲南圏域の3市町が共同で整備し、広域で処理する体制づくりを進めていくことで合意しました。

雲南圏域3市町を代表して挨拶した石飛市長は「ごみ処理施設は、地域のみなさまにとって必要不可欠な社会資本。安定的なごみ処理だけでなく、雲南圏域の環境面にも配慮した施設整備、あるいは運営が必要。」と述べました。



写真:左から、徳江会長、勝田町長、武上署長

「社会を明るくする運動」内閣総理大臣メッセージ伝達式 及び青少年の非行・被害防止メッセージ伝達式

7月の「社会を明るくする運動」調月間と「青少年の非行・被害防止全国強調月間」にあわせ、7月4日、役場仁多庁舎において「社会を明るくする運動」内閣総理大臣メッセージ伝達式及び青少年の非行・被害防止メッセージ伝達式が開催されました。

伝達式では、雲南地区保護司会の徳江良弘会長が内閣総理大臣からの「社会を明るくする運動」メッセージを、雲南警察署の武上武志署長が島根県知事、島根県警察本部長、島根県教育委員会教育長の3者連名による「青少年非行・被害防止」メッセージを、町長に伝達しました。

《社会を明るくする運動》
すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動。

《社会を明るくする運動強調月間》
学校が夏休みに入る毎年7月に、青少年の非行・被害防止に関する活動を集中的に実施すること。